

月次活動報告書

団体名 野菜の自産自消の会

①目的

事業の目的

生ゴミや野菜屑等を培養土として活用し環境にやさしい野菜の自産自消を図るために多品種栽培に効率が良く連作障害などに対応が容易な協同栽培を行う。又この協同栽培は、土壌への適応性や農法の改善などのための試作栽培としても位置付けて新規野菜に積極的にチャレンジする場とする。

②実施概要

当月	活動名	実施日時	場所	内容	対象者 参加者(人数)
①	玄米アミノ酸酵素活用	7/10	森宅	<ul style="list-style-type: none"> 玄米アミノ酸酵素 2 種類購入、配布 酵素の活用法の勉強会 	会員 (8名)
②	ぼかし肥料作成開始	7/13	森宅等	<ul style="list-style-type: none"> 米糠を購入しぼかし肥料作成開始 	会員 (4名)
③	試験栽培品目の確認	7/26	森宅	<ul style="list-style-type: none"> アミノ酸酵素ぼかし肥料をキュウリ、ネギに本肥、ナス等に追肥として試用 試験栽培品としてアイスプラント、エアポテト等を選定 	会員 (6名)
④	初物の食味の実施	7/26	森宅	<ul style="list-style-type: none"> アイスプラント、トマト、ナス、カボチャ等の食味会の実施 	会員 (6名)
来月 予定	活動名	実施 予定 日時	場所	内容	対象者 参加者(人数)
⑤	野菜ストックカーの設置	8/16	林宅		
⑥	海産物残渣の活用検討	8/23	作田宅		
⑦					

③PR方法

特になし

④連携・協力関係団体等

特になし

⑤成果・課題

成果・効果	事業に取り組んで見えてきた課題
・本肥、追肥として玄米アミノ酸酵素ぼかし肥料の試用開始	・従来施肥及び有用微生物利用肥料との比較評価
・初物の食味の実施	・タヌキ、ハクビシン等による食害

< 成果の客観的データを記入します。例えばアンケートの結果を記入します。 >

--

イベント内容などの写真

	
アイスプラント及び初物野菜	タヌキ、ハクビシン食害

< 推進委員コメント >

- ①食害もあると思いますが、トウモロコシの生育はいかがだったのでしょうか。(秋葉)
- ②米ぬかなどは購入すべき理由はありますか？コイン精米の米ぬかではだめなのか？(秋葉)
- ③ソルトリーフなどマイナー野菜の栽培にチャレンジする意図はあるのか？(秋葉)
- ④土壌比較は進みましたでしょうか？微生物の数やPH値などは着手できると思いますが。(秋葉)
- ⑤「野菜ができた・できない」という結果だけが報告されており、会員全員の圃場データ情報、配布した酵素の進行具合などを写真やデータでとっているのか？(秋葉)

< 回答 (林 章) >

- ①50本ほど栽培し概ね生育は、問題がありませんでした。
タネキ、ハクビシンなどの忌避剤をご存じでしたらアドバイスを願います。

- ②コイン精米の一部頂きましたが、少量でしたので25Lを25袋を購入し会員で分配しました。
本肥として使用、生ゴミや落ち葉の堆肥化などに使用のため少し多く必要となりました。
多く頂けるところがありましたらご紹介をお願いします。
- ③マイナー野菜等も栽培種の範囲にしたいと考えております。
- ④土壌比較は、観察のみに留まっております。
微生物検査、PH等は、どのように実施になるのか、又は測定機器、委託費用などについてアドバイスを願います。
- ⑤現在、酵素を使用した肥料は、これから本肥として栽培することになりますのでこれから
1対比較栽培データを取り予定です。
会の発足が6月のため秋冬野菜の栽培が本番となります。
圃場面積は、300から500m²になると考えております。

自産自消の会

団体名 野菜の自産自消の会

〒283-0101 山武郡九十九里町作田 1078 の2

TEL/0475-76-7807 FAX/0475-76-7807

<http://www.abcde.html>